

---

## 10 品目別調査結果 あんぽ柿

---

1. 概況
2. 調査実施概要
3. 各取引段階の“量”の変化
4. 各取引段階の“価格”の変化
5. 福島県産品に対する認識

---

# 1. 概況

---

301

## 調査結果概要 (1/3)

---

### 1. 各取引段階の“量”の変化

#### 出荷段階

- 福島県産あんぼ柿は、震災後に2年間、加工・出荷を自粛。平成25年度には加工・出荷を再開。
- 平成30年度には、平成22年度の約82%の水準まで回復したが、令和元年度で約68%の水準まで落としていた。

#### 卸売段階

- 東京都中央卸売市場の1月の福島県産干し柿は、他県産のシェアが減少傾向にある中でシェアを伸ばしており、近年では50%程度のシェアとなっている。
- 名古屋市中央卸売市場を除いたその他の市場においては、取扱量は東京都中央卸売市場よりも少ないが、シェア1位となる月がある。

302

## 2. 各取引段階の“価格”の変化

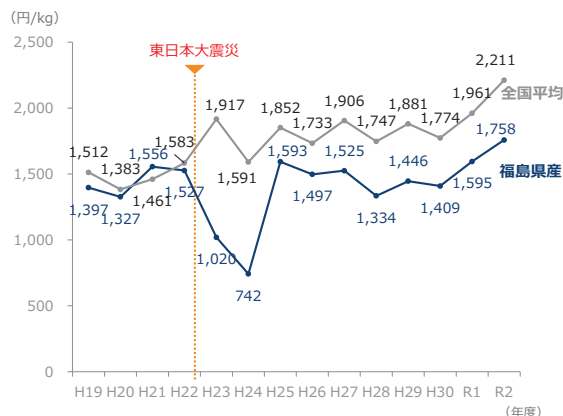
### 市場における状況

- 東京都中央卸売市場における福島県産干し柿の取引価格は、震災直後に大きく下落し、平成25年度には震災前と同程度(=約1,600円)まで回復した。
- しかし、全国平均の価格は震災後に上昇したため、全国平均との価格差(=約450円)は埋まっていない。

### 個別事例における状況

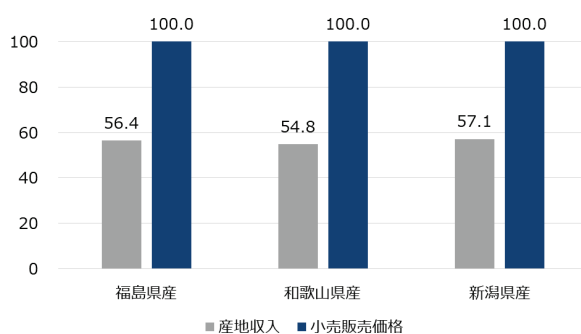
- 贈答用あんぼ柿として、福島県産と他県産を併売している小売業者から価格を入手した。
- 贈答用商品であるためシーズン中に価格を変えることがなく、12月の調査対象期間中において、小売業者の販売価格は一定であった。また、仕入価格も一定としていた。
- この小売業では福島県産・他県産ともに、小売業者の値入率は全商品でほぼ同程度であった。

東京都中央卸売市場における平均単価の推移



データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

あんぼ柿の価格形成事例



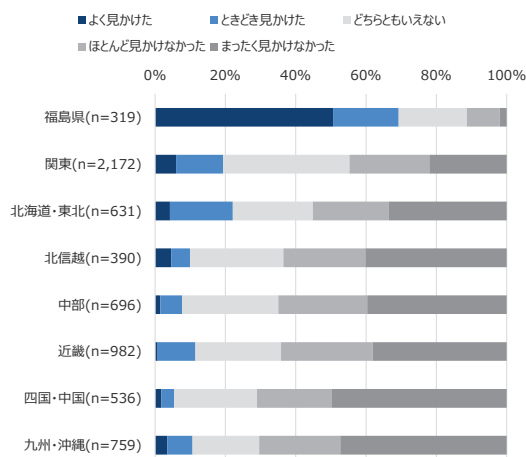
※数値は小売販売価格を100とした指数

## 3. 福島県産品に対する認識

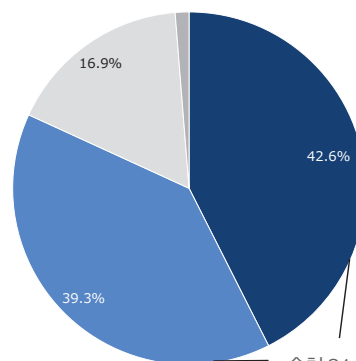
### 消費者の反応

- 福島県産あんぼ柿をよく見かけた人の割合は、福島県が高く、他の地域では10%に満たなかった。
  - 福島県産あんぼ柿を買ったことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では3.2%であった。
- 福島県産あんぼ柿の購買者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が81.9%であった。

福島県産あんぼ柿を店頭で見かけたか



福島県産あんぼ柿購買者の評価 (n=322)



合計81.9%

## 2. 調査実施概要

調査の全体像

概要調査として政府統計等を整理し、全体像を把握した。また、消費者へのアンケート調査により、消費者の福島県産品の購買実態や評価を把握した。さらに、取引段階ごとの取引価格、販売価格に係る調査を実施し、推移の実態を分析した。

	概要調査	アンケート調査	追跡調査
概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>統計情報を整理し、生産・流通の実態を把握。</li> <li>市場での動向については、競合県産品との比較分析を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費者の福島県産品の購買実態や評価を把握する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>訪問面接により取引段階ごとの取引価格、販売価格に係る調査を実施し、推移の実態を分析する。</li> <li>他県産の同品目についても調査の上、比較分析を行う。</li> </ul>
調査対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政機関の政府統計。</li> <li>卸売市場データ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国の消費者。 (11,000人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>贈答用化粧箱またはトレーで包装されたあんぼ柿。</li> <li>福島県産以外に他県産も扱う事例を対象に含める。</li> </ul>
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>福島県産あんぼ柿の出荷量。</li> <li>卸売市場における取扱量と、競合県産品と比較したシェアの推移。</li> <li>卸売市場における取引価格の競合県産品との比較。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>福島県産あんぼ柿の視認経験。</li> <li>福島県産あんぼ柿の購買経験。</li> <li>あんぼ柿購買時の重視点。</li> <li>福島県産あんぼ柿の評価。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>流通ルートを抽出し、取引価格の追跡調査(各取引段階における関係者からの個別データ収集)を行う。</li> </ul>
各節との対応	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">各取引段階の“量”の変化</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">各取引段階の“価格”の変化</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">福島県産品に対する認識</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">各取引段階の“価格”の変化</div>

各データを入手・分析し、最新の傾向を比較した。アンケート調査と追跡調査については、独自に情報を収集した。

---

概要調査  
使用データ

- 福島県 提供データ。
- 首都圏・関西圏・名古屋・札幌の各市場の統計データ。

アンケート  
調査

- 全国の消費者にWebアンケート調査を実施。
  - 11,000件を回収・分析を実施した

追跡調査

- 首都圏の小売業に至るルートと、福島県内の小売業に至るルート、関西の小売業に至るルートをそれぞれ1ルートずつ価格データを収集。
  - そのうち、首都圏のルートでは他県製品の価格データも収集。

307

---

### 3. 各取引段階の“量”の変化

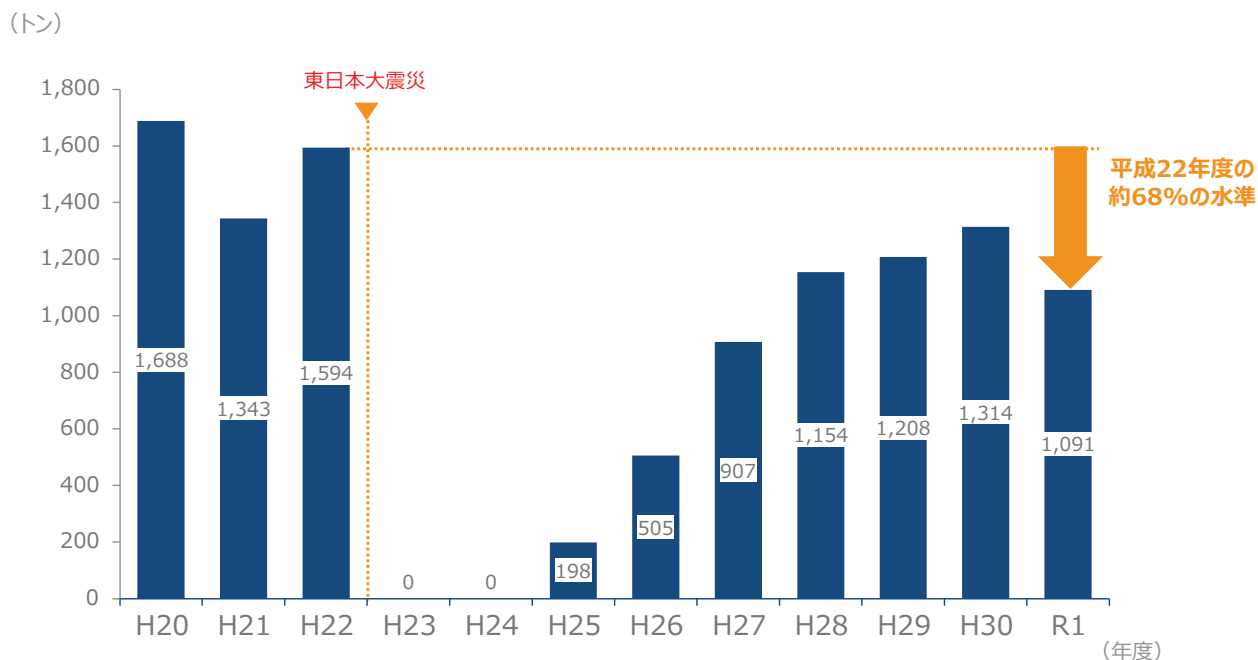
---

308

## 福島県産あんぽ柿の出荷量の推移

福島県産あんぽ柿は、震災直後に出荷を自粛した後、平成25年度に出荷を再開して以降、徐々に出荷量が回復していたが、令和元年度で出荷量が減少した。また、令和元年度の出荷量は、平成22年度実績の約68%となっている。

福島県産あんぽ柿の出荷量の推移



データ出所：福島県調べ

※当年10月～翌年4月までを一年度として集計した値

309

## 各市場における干し柿・あんぽ柿の産地リレー(令和元年産・首都圏)

※市場によって商品分類が異なるため、干し柿で集計した市場とあんぽ柿で集計した市場がある。

東京都中央卸売市場、横浜市中心卸売市場のいずれにおいても、1月～3月にかけて、福島県産干し柿がシェア1位であった。

各市場における産地リレー(令和元年産)

産地	各月で市場シェア1位～3位の順に												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
福島	55%	71%	53%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	7%	19%	420
長野	25%	19%	17%	12%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	5%	43%	339
山梨	8%	2%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	44%	35%	10%	121
富山	4%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	12%	11%	82
中国	4%	5%	11%	23%	20%	61%	27%	9%	51%	7%	6%	3%	51
総量	300	181	51	10	3	1	0	0	0	22	101	507	

産地	各月で市場シェア1位～3位の順に												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
福島	51%	75%	57%	33%	-	-	-	-	-	0%	10%	19%	68
長野	35%	14%	30%	2%	-	-	-	-	-	0%	2%	51%	61
山梨	5%	0%	0%	0%	-	-	-	-	-	94%	71%	10%	21
和歌山	5%	6%	7%	0%	-	-	-	-	-	0%	2%	4%	8
富山	3%	0%	0%	0%	-	-	-	-	-	0%	4%	7%	7
総量	51	28	11	0	0	0	0	0	0	3	11	71	

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。  
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の統計データ

310

大阪市中央卸売市場、京都市中央卸売市場のいずれにおいても、12月～3月にかけて、福島県産あんぽ柿がシェア1位であった。

各市場における産地リレー(令和元年産)

大阪市中央卸売市場		あんぽ柿のデータ												各月で市場シェア1位～3位の順に	
		■ ■ ■ で色付け													
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計		
福島	79%	76%	52%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	33%	78		
和歌山	13%	11%	39%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	30%	23%	32%	42		
鳥取	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	28%	26%	16%	19		
山梨	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	18%	20%	2%	9		
島根	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	14%	11%	8%	8		
総量	42	32	9	2	1	0	1	1	0	11	32	44			

京都市中央卸売市場		あんぽ柿のデータ												各月で市場シェア1位～3位の順に	
		■ ■ ■ で色付け													
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計		
福島	82%	98%	93%	0%	-	-	-	-	-	-	0%	52%	24		
鳥取	0%	0%	0%	0%	-	-	-	-	-	-	51%	32%	7		
山梨	7%	0%	0%	0%	-	-	-	-	-	-	39%	8%	5		
和歌山	11%	2%	7%	100%	-	-	-	-	-	-	0%	6%	2		
富山	0%	0%	0%	0%	-	-	-	-	-	-	7%	2%	1		
総量	11	9	2	0	0	0	0	0	0	0	10	7			

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。  
※総量・合計の単位はトン。

各市場における干し柿・あんぽ柿の産地リレー(令和元年産・その他)

※市場によって商品分類が異なるため、干し柿で集計した市場とあんぽ柿で集計した市場がある。

名古屋市中央卸売市場では1月・3月に、福島県産あんぽ柿のシェアが2位であった。  
札幌市中央卸売市場では12月～3月に、福島県産干し柿のシェアが1位であった。

各市場における産地リレー(令和元年産)

名古屋市中央卸売市場		あんぽ柿のデータ												各月で市場シェア1位～3位の順に	
		■ ■ ■ で色付け													
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計		
福島	8%	12%	7%	0%	0%	0%	-	-	0%	0%	0%	0%	7		
長野	76%	70%	85%	89%	97%	100%	-	-	31%	0%	5%	86%	151		
中国	7%	15%	6%	8%	3%	0%	-	-	69%	7%	1%	4%	12		
山梨	5%	0%	0%	0%	0%	0%	-	-	0%	66%	26%	2%	10		
愛媛	1%	1%	0%	0%	0%	0%	-	-	0%	5%	33%	1%	9		
総量	37	25	16	5	3	1	0	0	0	2	20	96			

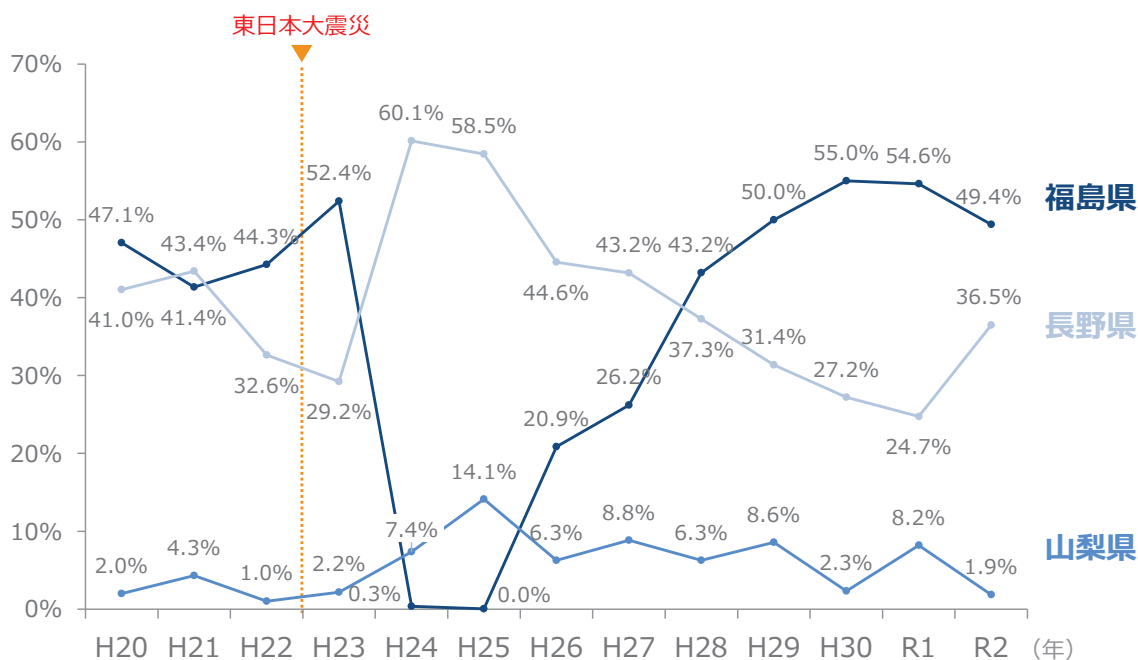
札幌市中央卸売市場		干し柿のデータ												各月で市場シェア1位～3位の順に	
		■ ■ ■ で色付け													
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計		
福島	73%	77%	40%	0%	0%	0%	0%	-	0%	0%	10%	30%	59		
新潟	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	-	0%	33%	60%	14%	21		
山形	4%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	-	0%	0%	0%	27%	20		
長野	10%	5%	2%	0%	0%	0%	0%	-	0%	0%	0%	12%	12		
和歌山	2%	2%	32%	50%	27%	0%	0%	-	0%	44%	9%	7%	11		
総量	29	18	5	2	1	0	0	0	0	4	17	68			

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。  
※総量・合計の単位はトン。

**東京都中央卸売市場の1月の福島県産干し柿は、他県産と比較してシェアを伸ばしており、直近では50%程度のシェアとなっている。**

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(1月)



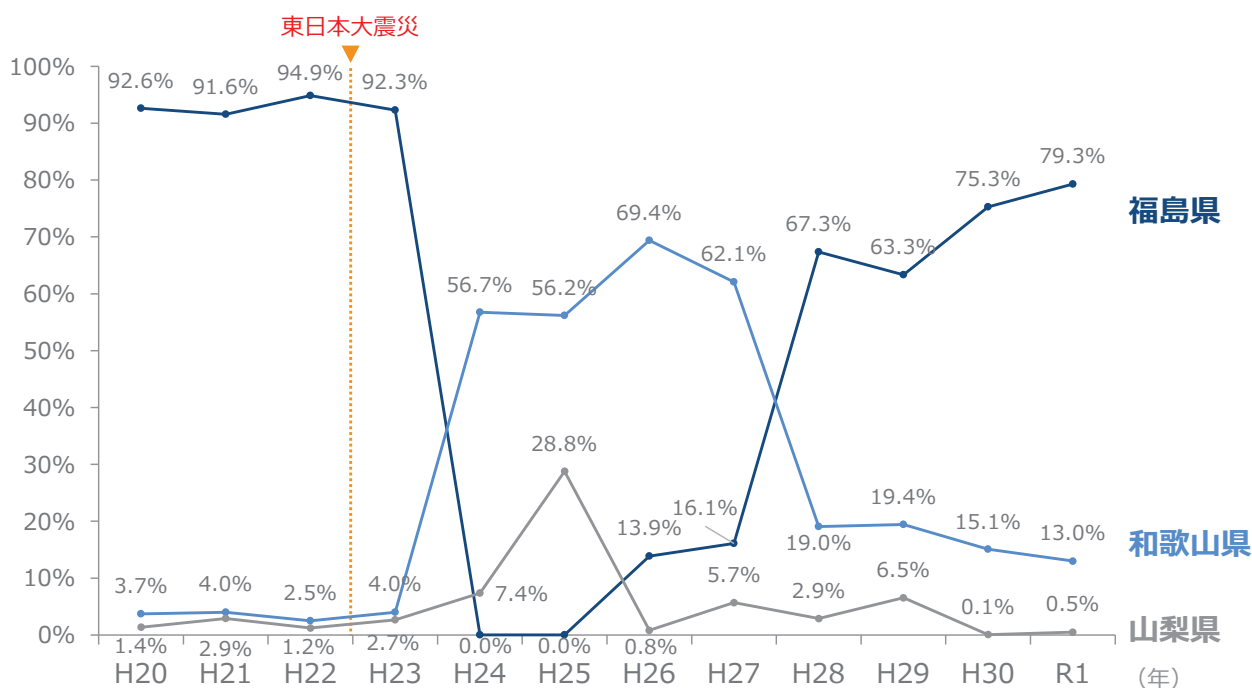
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

※「干し柿」のデータ。

大阪市中心卸売市場における福島県産あんぽ柿のシェアの推移

**大阪市中心卸売市場の1月の福島県産あんぽ柿は、平成28年にシェアが大きく回復し、平成30年以降は7割以上のシェアとなっている。**

大阪市中心卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(1月)



データ出所：大阪市中心卸売市場からの提供データ



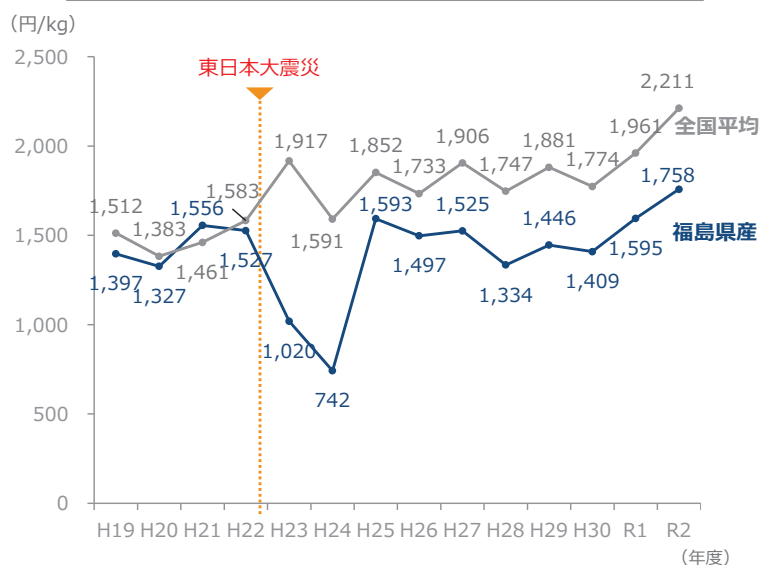
## 4. 各取引段階の“価格”の変化

315

福島県産干し柿の価格回復概況（全国平均との価格差）

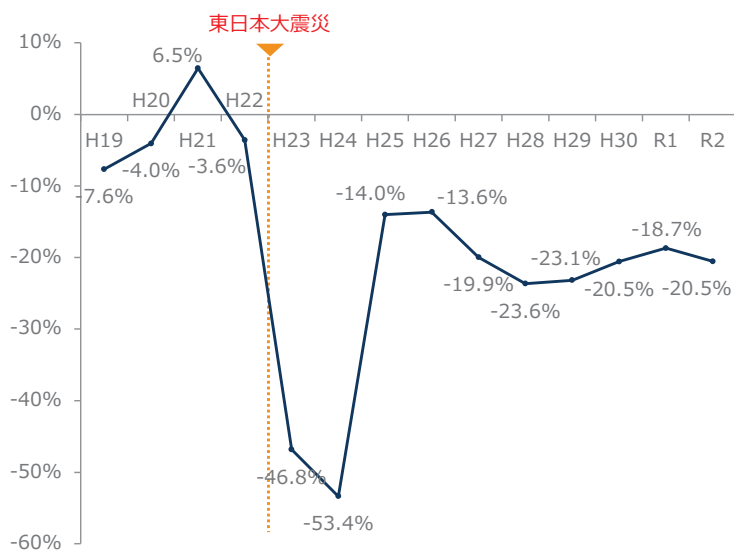
令和2年度の東京都中央卸売市場での干し柿の平均単価について、全国平均・福島県産ともに上昇しているが、全国平均との価格差は縮まっていない。

東京都中央卸売市場における平均単価の推移



※令和2年度は、令和2年12月までの実績を使用。

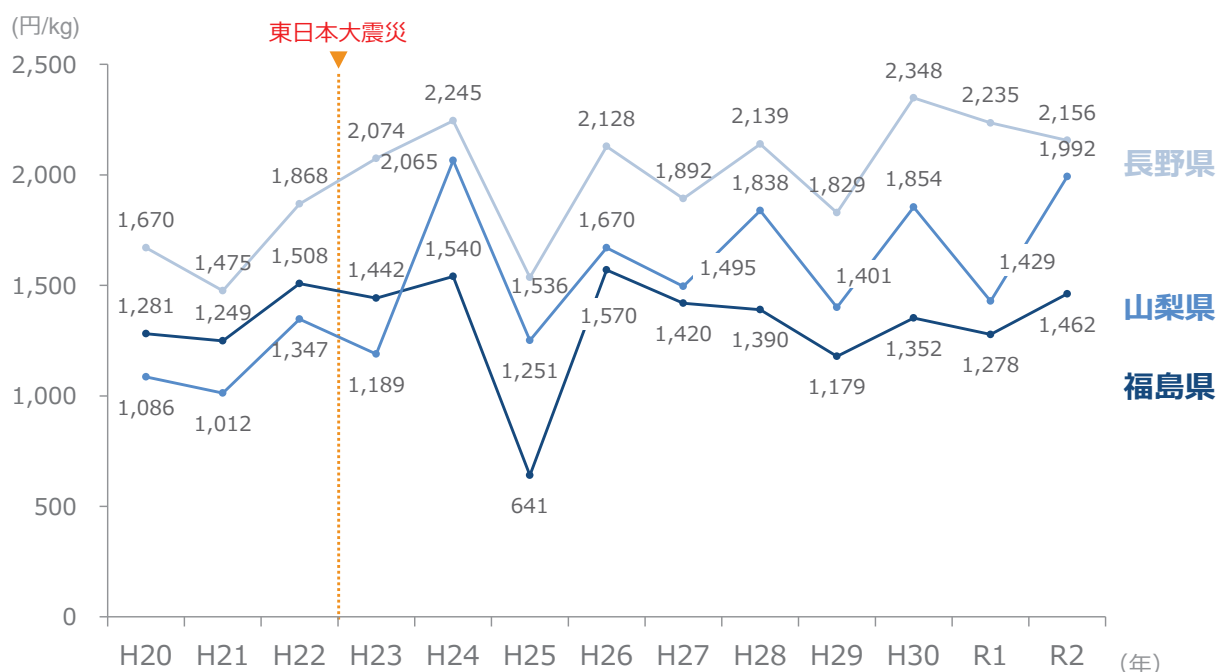
全国平均と福島県産の価格差の推移



※福島県産と全国平均の価格差を、全国平均の価格で割った値。  
例えば、福島県産が全国平均より1割安ければ-10%となる

**東京都中央卸売市場の1月の福島県産干し柿の平均単価は、震災後、山梨県産に価格ポジションを逆転されて以降、山梨県産より下に位置している。**

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(1月)



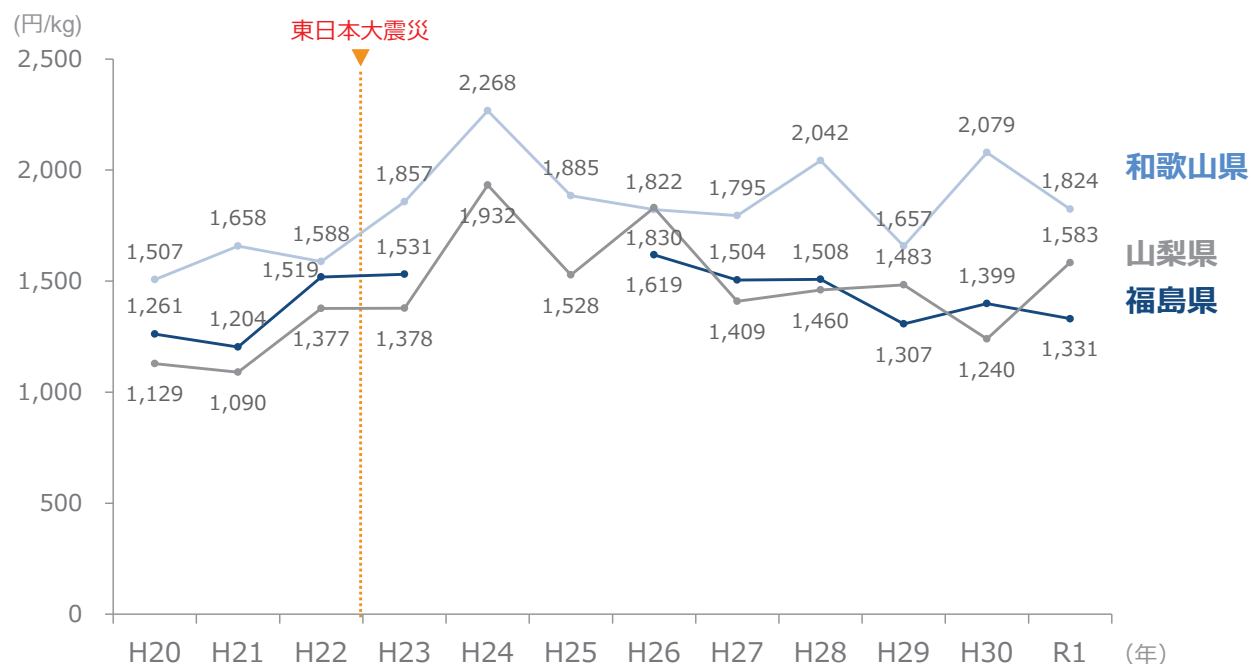
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

※「干し柿」のデータ。

大阪市中心卸売市場における福島県産あんぽ柿の単価の推移

**大阪市中心卸売市場の1月の福島県産あんぽ柿の平均単価について、近年、震災前に福島県産よりも安価であった山梨県産が上回る年がある。また、和歌山県産との価格差について、令和元年において縮小している。**

大阪市中心卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(1月)



※平均単価の数値がない箇所は、市場への出荷がなかった。

データ出所：大阪市中心卸売市場からの提供データ

## 価格形成に関する事例調査(追跡調査)を行い、福島県産あんぽ柿の価格形成に関する分析を実施した。

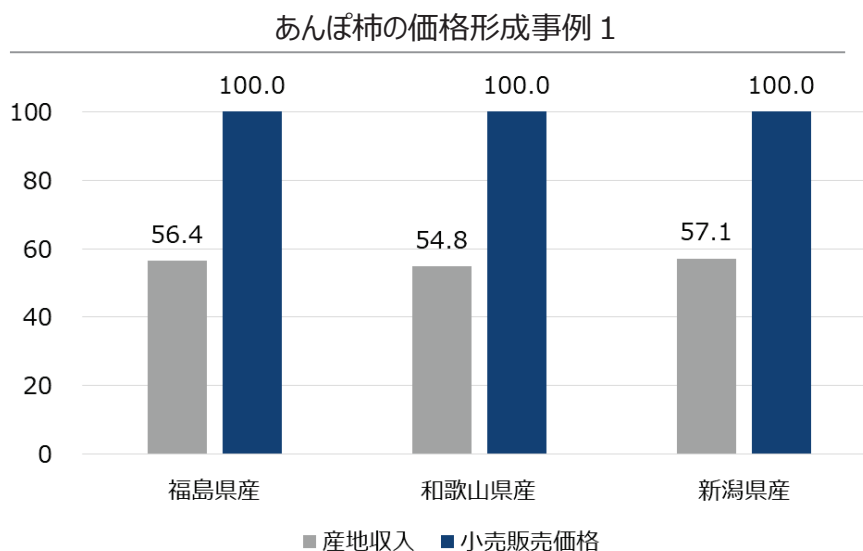
### 概要

概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>取引段階ごとの取引価格、販売価格に係る情報を収集し、価格形成の実態を把握する。</li> <li>他県産の同品目についても調査の上、比較分析を行う。</li> </ul>
対象商品	<ul style="list-style-type: none"> <li>化粧箱またはトレーで包装されたあんぽ柿</li> </ul>
対象期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>期間：令和2年12月～令和3年1月</li> </ul>
調査ルート	<ul style="list-style-type: none"> <li>首都圏内の小売業者へ流通するルート：1ルート。                         <ul style="list-style-type: none"> <li>このルートでは、競合産地産の価格も収集。</li> </ul> </li> <li>福島県内の小売業者へ流通するルート：1ルート。</li> <li>関西の小売業者へ流通するルート：1ルート。</li> </ul>

319

### あんぽ柿の価格形成事例 1

- 小売業者の年末贈答用あんぽ柿の事例。
  - この小売業者では、産地の集出荷業者から直接、贈答用あんぽ柿を仕入れている。
  - 贈答用商品であるためシーズン中に価格を変えることがなく、12月の調査対象期間中において、小売業者の販売価格は一定であった。また、仕入価格も一定としていた。
  - 福島県産・他県産ともに、小売業者の値入率は全商品でほぼ同程度であった。

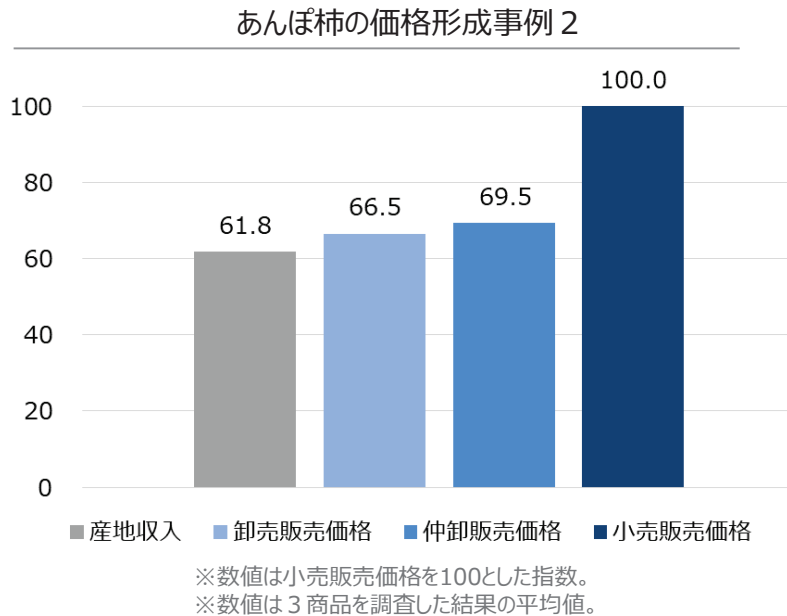


※数値は小売販売価格を100とした指数。  
 ※福島県産は2商品の平均、福島以外は1商品の値。

320

## あんぽ柿の価格形成事例 2

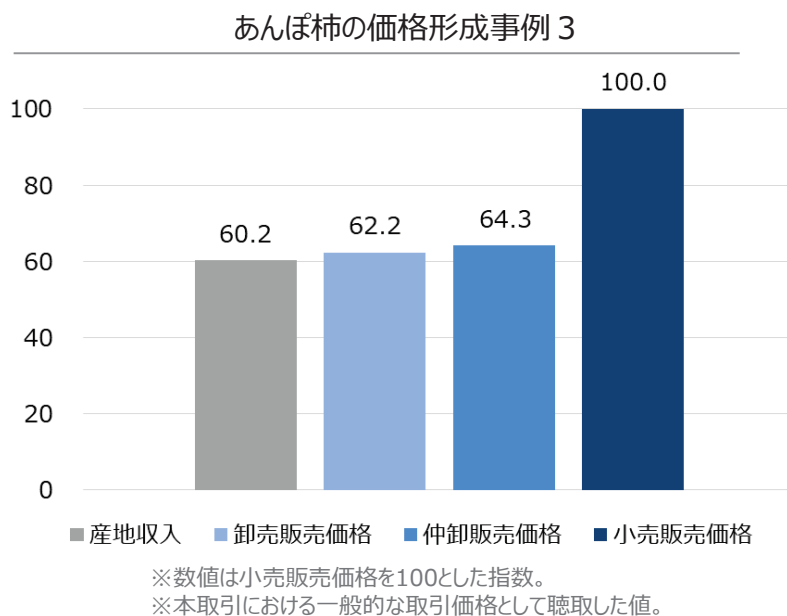
- 福島県内小売業者の年末贈答用あんぽ柿の事例。
  - この小売業者では、卸売市場経由で贈答用あんぽ柿を仕入れている。
  - 卸売市場流通であるが、セリのように日々の値決めをしているわけではなく、事前に卸売業者・仲卸業者・小売業者で協議して価格を決定している。
  - 卸売業者は生鮮果実と同様の委託手数料率 7%で販売。



321

## あんぽ柿の価格形成事例 3

- 関西の小売業者に至る事例。
  - 産地から関西の卸売市場を経由して、小売業者に流通。
  - 事例 1、2と異なり、贈答用ではないあんぽ柿の事例。
  - 本事例の仲卸業者への聞き取りによると、小売業者の業種によっては本事例よりも 2割強高い価格で販売している例もあり、小売業者のマージンは異なるとのことであった。



322

## 本調査では、福島県産と競合他産地産との価格形成に明確な違いは見られなかった。

---

- 競合産地と比較して、価格形成に明確な違いは見られなかった。
  - 小売業者が複数産地の贈答用あんぽ柿を取り扱う事例 1 では、小売販売価格に対する産地収入の比率は、福島県産と他県産でほぼ同一であった。
- 贈答用商品では価格を固定している取引事例が複数見られた。
  - 事例 1 と 2 は年末の贈答用あんぽ柿の事例であり、いずれも流通段階ごとの取引価格や小売販売価格をシーズン中一定としていた。

---

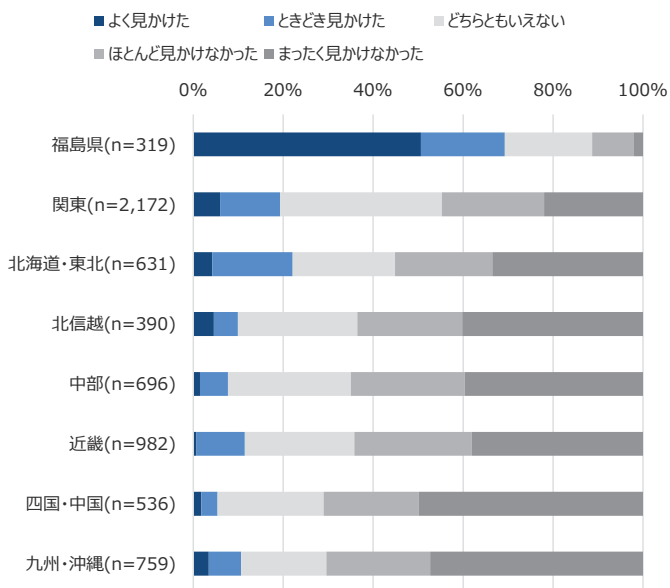
## 5. 福島県産品に対する認識

---

## 福島県産あんぽ柿を見た経験と購買経験（消費者アンケート）

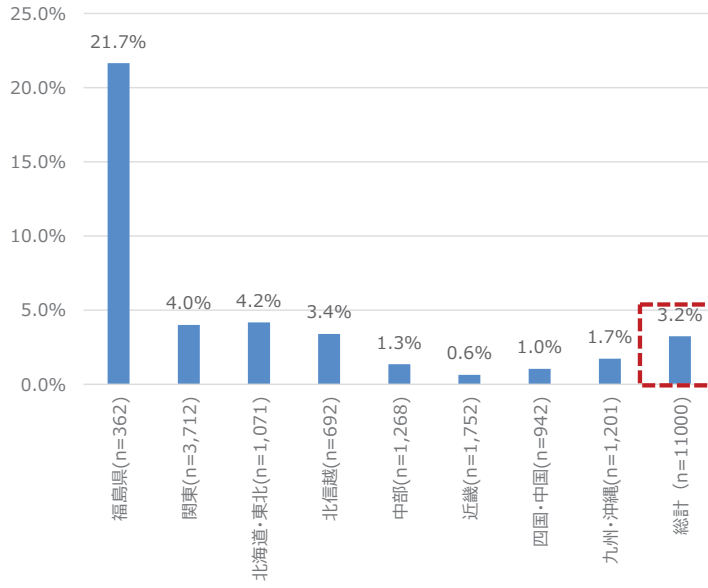
**福島県産あんぽ柿をよく見かけた人の割合は、福島県が高く、他の地域では10%に満たない。福島県産あんぽ柿を買ったことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では3.2%であった。**

福島県産あんぽ柿を店頭で見たか



※過去1～2年に、店頭で福島県産あんぽ柿を見た記憶を尋ねた。  
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産あんぽ柿の購買経験率



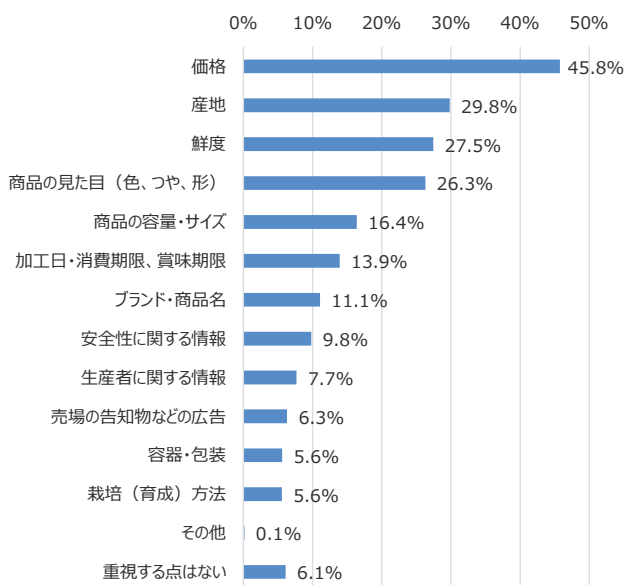
※購買経験率=1度でも購買したことがある人数/回答者数  
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購買経験なしとなる。

\*本頁及び次頁は、平成27年国勢調査における年代別人口比と合わせるため、ウェイトバック集計をしている。

## あんぽ柿の重視点と、購買者の評価（消費者アンケート）

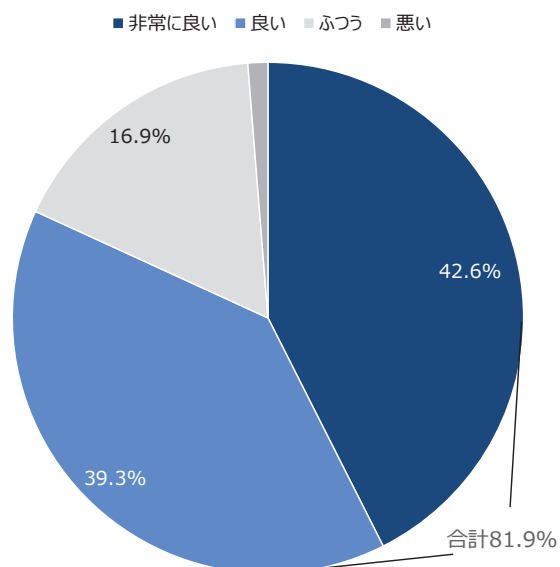
**福島県産に限らずあんぽ柿購買時の重視点を尋ねたところ、「価格」が上位にあがり、次いで「産地」と「鮮度」と「商品の見た目」があがった。福島県産あんぽ柿の購買者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が81.9%であった。**

あんぽ柿購買時の重視点（n=2,197、複数回答）



※あんぽ柿購買時の重視点は、福島県産に限らない質問。  
※月に1回以上あんぽ柿を購買している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産あんぽ柿購買者の評価（n=322）



※福島県産あんぽ柿を買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。  
※選択肢には「非常に悪い」という選択肢があったが、本設問では「非常に悪い」を選択した回答者はいなかった。